

穂高PTAだより

発行日 令和7年9月26日
穂別高校PTA研修委員会

第72回穂高



「団結力が作る楽しい学校祭」

PTA研修委員長 上杉 貴子

今年の第72回穂別高校学校祭は、生徒が二年生と三年生あわせて11名と少ない人数でしたが、その分団結力が高まっていたと感じました。

一日目の学校ステージでのパフォーマンス、二日目の流送ステージでのパフォーマンスどちらも生徒の皆さんが笑顔から楽しんでいる様子が見え、満面の笑顔から伝わってくる、見ていて側も一緒に口ずさんだり踊ったりしたくなるような素晴らしいものとなりました。

特に流送祭りのステージでは、地域の方や保護者の皆さんも元気で活発な姿を見ていただき、大変ありがたく感じました。二年生は去年より堂々とステージをこなし、笑顔が溢れてきて、パフォーマンスを楽しんでいる様子で、三年生は、三年間の集大成と云った感じが、二年生の集大成と云った感じが、終わってからの集結させている感じが、伝わってききました。

また、一日目の昼食であるBBQにはPTAの皆様にも準備からお手伝いをいただき、みんな楽しんで食事を過ごさることができました。地域の方や保護者の方からも氷やメロンの差し入れを頂戴して、生徒たちも保護者も先生たちも大変よろこんでおりました。

最後にになりますが、保護者の皆様、教職員の皆様、地域の皆様のご協力・ご支援により、穂高祭を無事に終えることができました。この場を借りて感謝申し上げます。

今後とも、子どもたちの成長を見守りながら、学校生活やPTA活動への協力をお願いします。

・「団結力が作る楽しい学校祭」	PTA研修委員長 上杉 貴子	表紙
・「伸びしろ」	PTA会長 横山 貴仁	2ページ
・「工夫と努力を継続して「自分らしく」成長を」	校長 福田 敦	2ページ
・学年より	各学年担任	3ページ
・令和7年度 PTA事業		3ページ
・令和7年度 PTA役員		3ページ
・活躍する穂高生		4ページ
・転入職員紹介		4ページ
・学校祭でのご協力ありがとうございました		4ページ
・PTA研修委員		4ページ

CONTENTS

「伸びしろ」

PTA会長 横山 貴仁



令和六年度より、引き続きPTA会長を務めさせていただいております横山です。

保護者の皆様には平素より、PTA活動に対しご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。穂高高校は閉校まで残り一年六ヶ月となり、本年七月に閉校記念事業協賛会設立総会が行われ、これから事業内容について協議がなされていくところです。穂高高校の歴史に幕を閉じるのは、本校卒業生の一人として大変残念なところではあります。

これまでの穂高高校生の活動は様々あり、地域に活力を与えてきたところですが、なかでも七月に行われました穂高高等学校祭では、全校生徒11人（二年生一名・三年生10名）という少数精鋭で行われました。一日目の各種発表では、歌やダンス、楽器演奏などのパフォーマンスが行われ、生徒それぞれの個性が表現された高校生らしく元気いっぱいの内容でした。生徒が企画しますので、今の流行のものに触られる機会でもあり楽しく観覧させていただきました。二日目は、穂高流送まつりでの発表ですが、この日のパフォーマンスは一日目を超える表現力で力強く自信をもって行っていました。多くの観衆の前で緊張もあったと思いますが、人前での発表が「人を楽しませたい」というやる気が伝わって、観客も楽しく元気をもらったことと思います。たった二日間でこれほどの成長をみて、高校生活がますます充実なものであって欲しいし、生徒たちの今後の「伸びしろ」が楽しみだと感じました。

最後に、先生方におかれましては、少数の生徒の対応で閉校もあり特殊な環境で大変苦慮されているかと思いが、保護者も含め全体で支え合っていたらと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

工夫と努力を継続して「自分らしく」成長を

校長 福田 敦



今年度も後半にさしかかりました。普段、校長が生徒に語りかける機会はありませんが、夏休み明けの全校集会（8/22金）などは貴重な機会です。今回、私は生徒に向けて、植松さんの講演について話をしました。内容がよく伝わるようスライドを準備しプレゼンテーションの形で進めてみました。内容はざっと次のようなものでした。

植松さんは赤平市の植松電機代表取締役で、作業用マグネットの製造販売を行いながら、宇宙に関する研究開発を行っています。植松さんは少年の頃から飛行機や宇宙などに興味を持ち、そんな姿を祖父母は嬉しく応援していました。ところが学校に行くようになると、飛行機や宇宙に夢を抱くも、先生から「お前の頭ではどーせ無理」「芦別に生まれた時点で可能性はない」などと悉く否定され、とても悲しかったそうです。

しかしその後、植松さんは気づきます。「どーせ無理」と言いたがる人は、実は「やったことがない人」「やろうともしない人」だと。そして、「どーせ無理」の代わりに「だったらこうしてみたら？」と発想転換して、いろいろな工夫や行動をすることで、夢は叶うし、自分も世の中も良くなると思えました。そして失敗を重ねつつも様々な活動を地道に広げていきました。

その結果、大学や企業と協力し合いながら、カムイハイブリッドロケットなど宇宙開発に係る様々な事業を実現していきました。「だったらこうしてみたら？」の姿勢で工夫と努力を継続することの大切さを、植松さんはユーモアを交えた平易な語り口で話しています。（動画サイトでも公式に掲載されているのでぜひご覧ください。）

植松さんの言う「だったらこうしてみたら？」という言葉は、「どーせ無理」に対する力ウンターパンチのようです。困難に対して挑戦した人は、たとえうまくいかなくても、何かを得て前に進みます。でも、やらない人は何も得られないどころか、誰かの挑戦を止めてしまふことさえあります。これは、大人にも子どもにも、そして教育の現場にも深く関わる話だと思えます。

私も親のひとりですが、今まで自分の子どもに良かれと思って、「それは難しいんじゃないか？」「やめておいた方がいいかもよ」と話したことがあったと思います。その中のいくつかは、もしかしたら子どもの可能性を狭めてしまうものだったかもしれない、とも思いました。学校は、知識を学ぶ場所であると同時に、自分の可能性に気づいたり、誰かの言葉に勇気をもたらしたりする場所でもあります。今回の私のささやかな講話が、本校の生徒にとって「心の学び」になったら幸いです。

本校はこれからも、生徒たちが「自分らしく」成長していけるような場であるよう工夫を重ねていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。結びになりますが、令和八年度に予定している閉校に係り、協賛会（北海道穂高高等学校閉校記念事業協賛会）を立ち上げたところです。保護者の皆様には、閉校事業に係る様々なご協力をお願いすることになるかと思えます。引き続きご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2 学 年



高橋 一嘉 (国語科:学年付) 印部 拓人 (理科:担任)
 長岡 弥生 (保健体育科:副担任) 大関あすか (実習助手:学年付)

「成長」

2年A組担任 印部 拓人

学年が一つ上がり、二年生になりました。この約一年半の学校生活はいかがだったでしょうか。先生方や先輩方に様々な場面で協力してもらいながら過ごしてきましたね。私たち教員から見ると、成長している部分もあればまだまだな部分もあるように感じます。「ここは成長してる!」「ここはもう少しだな」と自分で自分のことを振り返ってみると今後の高校生活がよりよいものになると思います。自分の成長した部分をどう維持していくか、まだまだ足りない部分をどう改善していくか、自分のよいところを更にどう伸ばしていくかは自分次第です。高校生活はもう半分を過ぎてしまいました。自分の将来に向けて覚悟をもって残りの高校生活を送ってほしいと思います。

3 学 年



黒原 有香 (養護教諭:学年付) 小柳 雄彦 (数学科:副担任)
 折原 拓真 (地歴公民科:担任) 熊田 茂樹 (英語科:学年付)
 石井 京子 (家庭科:学年付)

「自分のペースで。」

3年A組担任 折原 拓真

全校生徒11名という、日本の高校の中でも10番以内には入るぐらいの小規模校。いろんな制約やできることも限られる中で、三年生はよくやってきてくれていると思います。自分たちができることを少しでも彩れるように。一人ひとりが、考え行動に移し、時には仲間と支え合いながら。間違いなく君たちはこの二年半で大きな成長を遂げてくれました。

高校生活も残り半年となってきました。それぞれ10人やるべき事は違います。誰かのペースに合わせるのではなく、自分がやるべき事をやっていきましょう。そして、三月一日全員が充実した表情で卒業してくれることを心から祈っています。

令和7年度

PTA役員

会長 横山 貴仁
 副会長 上杉 貴子
 安田 希
 田中由佳梨
 監査 後藤 幸恵
 林 清美

令和7年度 PTA事業

- 4月26日(土) 授業参観・PTA総会、新会長選出
- 5月9日(金) 令和7年度おかわ町PTA連合会定期総会
- 5月24日(土) 令和7年度北海道高等学校PTA連合会胆振支部総会
- 6月7日(土) 北海道高等学校PTA連合会後志大会(函館市)
~8日(日)
- 7月18日(金) 穂高祭(第1日目) 昼食提供
- 7月19日(土) 穂高祭(第2日目) 流送まつりとタイアップ
- 9月26日(金) PTAだより発行

活躍する穂高生

大会結果掲示板

弓道部

【第36回 南部地区高等学校対抗弓道大会】
(5月3日)

女子個人

3年 白石 風香 予選敗退

【第61回室蘭支部高等学校弓道競技選手権大会 兼 第71回全道高等学校体育大会弓道競技大会室蘭支部予選会】 (5月22日～23日)

女子個人

3年 白石 風香 準決勝敗退

【第42回南部地区遠近の大会 兼 わたSHIGA輝く2025国スポ北海道代表選手南部地区選手権会】 (6月15日)

女子個人

3年 白石 風香 予選敗退(14位/28人)

バドミントン部

【第77回北海道高等学校体育連盟室蘭支部バドミントン選手権大会】 (5月27日～29日)

男子シングルス

3年 中村 智紀 1回戦敗退

女子シングルス

3年 林 こはる 1回戦敗退

放送局

【北海道高等学校文化連盟第49回全道高等学校放送発表大会 兼 第72回NHK杯全国高校放送コンテスト北海道大会 苫小牧地区大会】

朗読部門

3年 横山 咲衣 予選敗退

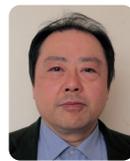
転入職員紹介



校長 福田 敦
前任校 札幌英藍高校

校長の福田敦です。理科教諭として物理・化学を中心に取り組んできました。

その後、指導主事や管理職を務め、授業をすることから離れてきましたが、理科に係る興味関心は今も変わりません。機会があれば理科の面白さを生徒に伝えたいです。



教諭 熊田 茂樹
前任校 室蘭工業高校

穂高高校に赴任し、早、数ヶ月が経ちました。印象的だったのは、学校祭での生徒たちが躍動する姿でした。とても感動しました。生徒個々の希望進路が実現できるようサポートしていきたいと思っています。



事務局長 坂井 秀昭
前任校 檜山北高校

四月より勤務しております事務長の坂井と申します。20年ほど前、夕張高校に勤務していた頃、何度か家族で穂別に遊びに来たことがあり、懐かしく感じました。自然豊かなこの土地で、生徒たちのために頑張りたいと思っています。



主事 今庄 和誉

四月より勤務しております、今庄和誉です。穂別に來てから16年ほどになります。今事務仕事は、初めてですが、精一杯頑張りたいと思います。

学校祭でのご協力 ありがとうございました

今年の学校祭において保護者の皆様には、一日目の昼食のお手伝いや生徒の送迎などにご協力いただき誠にありがとうございました。

今年の学校祭のテーマは「We can create the future.」でした。このテーマは「私たちが楽しい未来を創り上げよう!」という意味が込められており、今回の学校祭を一番の思い出にしようという強い決意が見られるテーマでした。その名の通り、生徒たちは、生徒会を中心に、チームワークを大切に一生懸命準備期間や学校祭当日を過ごしていました。

一日目は、パフォーマンスや生徒会企画、そして、BBQなどで大いに盛り上がることができました。各係で様々な工夫をし、全校生徒が大変楽しんでくれた様子が見え、良かったです。二日目は、むかわ町の流送まつりとのタイアップで実施することができました。大勢の町民の方々に前に大舞台で素晴らしいパフォーマンスを行い、町内からの多くのお客様に温かい拍手をいただき、本校生徒にとって貴重な経験となりました。保護者の皆様には、ご多忙の中、ご協力いただきありがとうございます。今後とも、本校の教育活動にご協力・ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

編集 PTA研修委員

- 委員長 上杉 貴子
- 委員 光山 かつら